

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】魚沼市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
33	2009.3.31			新潟県	魚沼市	43,555	947
構想の要約		バイオマスを活用することで魚沼らしい豊かなライフスタイルへの転換をめざす。家畜排せつ物や食品加工残さ、家庭生ごみ等の堆肥化に取り組み、安全、安心で高品質な米やユリ、野菜等の生産に地域全体で関わることで、市民の誇りを醸成する。また、身近に利用できる薪やペレットなどの木質バイオマスの活用により、森を再生しながら新たな雇用や観光、教育の拠点づくりを行う。					
構想に盛り込まれた事業		1. 家畜排せつ物・生ごみ・もみがら等の利用 2. 建設発生木材・間伐材・林地残材等の利活用 3. 廃食用油の利活用 4. その他のバイオマス(下水等汚泥、刈草、稲わら、もみがら)の利活用 5. バイオマス利活用の広域連携 6. 普及啓発、観光、教育事業等の取組					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物
農業系廃棄物(廃菌床など)	○	野菜等非食部		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○	
廃食用油	○	果樹剪定枝		
水産加工残さ		竹材		
製材工場等残材	○	その他()		
建設発生木材	○			
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○			
古紙・廃棄紙				
下水汚泥など	○			
その他(ダム流木)	○			

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(建設資材化)	○	炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.5.11	2009.3.31バイオマスタウン構想公表(JORA協力。BTアドバイザー研修地)
2010.07.27	農村振興局助成措置:平成18年度一、魚沼市、家畜排せつ物、生ごみ、食品廃棄物、きのこ廃菌床、もみ殻、タラの芽廃木堆肥化施設の整備

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

表2 地域のバイオマス賦存量と利用目標

(単位：t/年)

バイオマス	賦存量		現 況				目 標				
	湿潤量	炭素換算量	仕向量		変換・処理方法	利用率	利活用量		今後の変換・処理方法	利用率	
			湿潤量	炭素換算量			湿潤量	炭素換算量			
廃棄物系バイオマス	31,281	3,178	17,561	1,740		55%	29,279	2,976		94%	
家畜排せつ物(ふん)	18,348	1,095	14,680	876	堆肥化	80%	18,348 (5,674)	1,095	堆肥化等*	100%	
農業系廃棄物	きのこ廃菌床	1,600	71	153	7	自家処理(暖房燃料)	10%	1,600 (1,280)	71	堆肥化等*	100%
	たらの芽	100	21	5	1	自家処理(暖房燃料)	5%	100 (100)	21	堆肥化等*	100%
食品加工残さ	597	26	0	0	焼却処分	0%	597 (597)	26	堆肥化等*	100%	
一般廃棄物(生ごみ)	2,783	123	0	0	焼却処分	0%	2,783 (123)	123	堆肥化等*	100%	
廃食用油	175	125	17	12	焼却処分 石けん化等	10%	175	125	BDF化等	100%	
下水道汚泥	2,591	179	213	14	堆肥化	8%	259	18	堆肥化	10%	
			0	0	焼却処分	0%	1,166	81	建設資材化	45%	
製材工場残材	730	163	613	137	チップ化等	84%	694	155	薪化等	95%	
建設発生材等	2,726	1,200	1,390	612	チップ化等	51%	2,590	1,140	チップ化等	95%	
剪定枝	5	1	3	1	チップ化等	60%	5	1	チップ化等	95%	
刈草	1,329	109	190	15	堆肥化	14%	665	55	堆肥、資材化	50%	
ダム流木	297	65	297	65	チップ化	100%	297	65	チップ化	100%	
未利用系バイオマス	23,548	6,527	2,522	722		11%	10,087	2,781		43%	
農作物非食用部	稲わら	16,800	4,810	1,512	433	堆肥化等	9%	6,720	1,924	堆肥化等	40%
	もみ殻	3,365	963	1,010	289	堆肥化等	30%	1,683 (500)	482	堆肥化等*	50%
	そば殻	6	2	0	0	自家処理(鋤込み)	0%	0	0	自家処理(鋤込み)	0%
間伐材	3,210	715	0	0	未利用	0%	1,600	356	薪化等	50%	
林地残材	167	37	0	0	未利用	0%	84	19	薪化等	51%	
資源作物	—	—	—	—		—	—	—		—	
—	—	—	—	—		—	—	—		—	

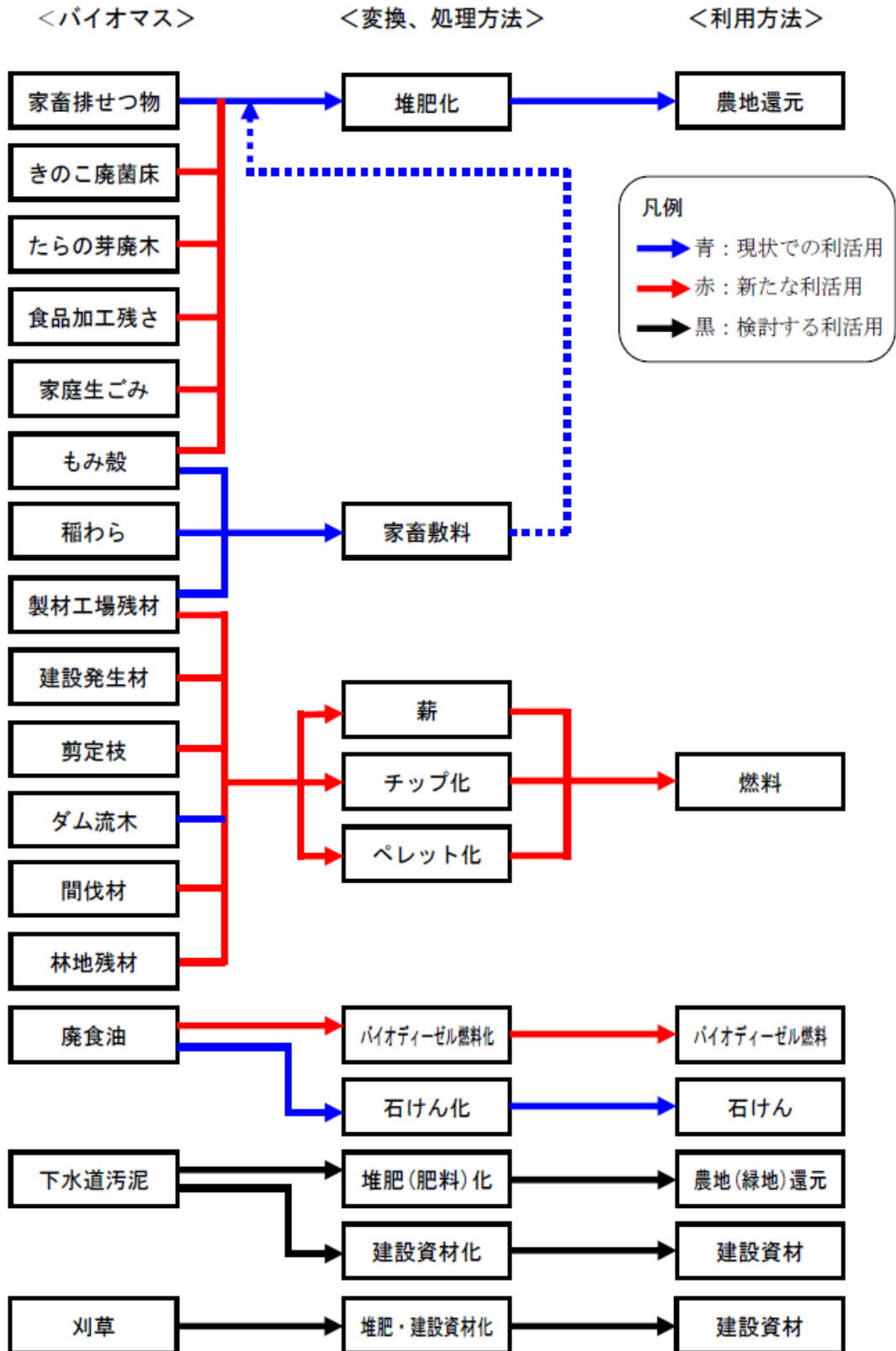
出典：魚沼市資料 (H20.10.31)

- ・「今後の変換・処理方法」欄の太字は、目標達成において主に取り組む変換・処理方法
- ・※：有機センターにおいて堆肥化する分を()内に内数で表示
- ・農業系廃棄物のきのこ廃菌床は、一部川口町からの受入分も含む

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)

魚沼市バイオマス利活用フロー図



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)